

徳島県西部地域政策総合会議計画推進評価部会における 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」の評価について

1. 基本的な考え方

- 1) 評価手順を「ABC判定」と「委員評価」に分離し、議論を整理
 - ・数値目標達成率（%）による「事業」ごとの客観的、機械的な「ABC判定」
 - ・改善見直しにつながる委員の提言を踏まえた「中項目」ごとの「委員評価」
- 2) 新型コロナの影響を受けた事業を含む中項目ごとの「評価」は、「新型コロナの影響の定量化はできない」ものの「その影響」や「対応状況」を加味

2. 評価単位

- 1) 評価単位
「徳島県西部圏域振興計画(第4期)」の「第5章 行動計画（圏域振興の視点と取組み）」において、「重点項目」の下位にある「中項目」を評価単位とする。

徳島県西部圏域振興計画 第5章 行動計画（圏域振興の視点と取組み）
重点項目（5）→中項目（15）→施策（106）と●数値目標（172）

- 2) 評価項目
「令和2年度振興計画（2年目）の成果及び取組」とする。

3. 「徳島県西部圏域振興計画（第4期）」評価シートの記載内容

次の1) から7) までの項目は「施策」又は「数値目標」ごと、8) は「中項目」ごとに記載している。

- 1) 施策・数値目標
振興計画に定めた施策と数値目標
- 2) 工程
計画期間中の各年度における目標の工程
- 3) 実績値（R1年度及びR2年度）
R1年度末及びR2年度末の実績値
- 4) 新型コロナの影響等
数値目標に新型コロナの影響がある場合に記載する。
 - 新型コロナの影響
次の①～④の類型のうち最も当てはまるものを選択し、記載
 - ①往来自粛・渡航制限等
：往来自粛や海外からの渡航制限等の影響を受けたもの
 - ②国際的・全国的事業の延期等
：国際的・全国的な事業等の延期・中止の影響を受けたもの
 - ③感染対策
：県が実施する事業等で、感染対策のため実施に制限をかける必要のあったもの
 - ④その他
 - 新型コロナへの対応
次の類型のうち最も当てはまるものを選択し、記載
 - A-1) 目標廃止
：令和3年度計画では目標設定を廃止するもの
 - A-2) 延期・中止
：国際的・全国的な事業等の延期・中止の影響を受けたもの

- B-1) ニューノーマルの手法
：数値目標の方向性は維持しつつニューノーマルの手法を取り入れたもの
- B-2) 補完的な取組
：数値目標では測ることができない補完的な取組みをしたもの
- C) 全く新たな手法で推進
：「ニューノーマル仕様」をはじめ全く新たな手法で推進する項目

5) 数値目標ごとの達成率

次の数式により達成率(%)を算出し、記載している。
数値目標の達成率(%)

$$= R2\text{実績値} \div R2\text{目標値} \times 100$$

- ※小数点以下は切り捨て(例：算出値が79.99...%の場合、79%)
- ※R2年度の実績値が未判明、目標値の設定がない場合は、「-」を記載

(例)
評価シート1ページ目の施策番号1における「延べ宿泊客数(暦年)」の場合
R2実績が138,413人なので、
数値目標の達成度 = $138,413\text{人} \div 226,500\text{人} \times 100$
= 61.1% → 61%

6) 判定(自動計算)

施策ごとの「判定」区分		
A	B	C
施策ごとの数値目標の達成率の単純平均 90%以上	施策ごとの数値目標の達成率の単純平均 80%以上	施策ごとの数値目標の達成率の単純平均 80%未満

- ※判定は数値に基づき機械的に実施
- ※委員協議による判定変更はなし

7) 具体的な取組の内容等

- 共通記載事項
 - ・具体的な取組の内容(新型コロナへの対応を含む)
 - ・成果(施策の実現状況)
- 数値目標に未達がない場合
 - ・今後の取組方針
- 数値目標に未達がある場合
 - ・数値目標未達の要因及び課題
 - ・課題の解決に向けた対応
- 令和2年度から令和3年度に向けて、数値目標等の改善見直しを既に行っている場合
 - ・R2→R3改善見直し内容

8) 評価案(「中項目」ごとに記載)

中項目を構成するすべての数値目標の「数値目標の達成率」から、平均値を算出し、達成率に応じて(順調, 要注視, 要改善)の中から選択。

中項目ごとの「評価」区分		
順調	要注視	要改善
中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 90%以上	中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%以上	中項目ごとの 数値目標の達成率 の単純平均 80%未満

(例)

重点項目1・中項目2の「深化する『にし阿波』魅力づくり」の場合

・中項目内の数値目標の達成率：

100% → 3項目・52% → 1項目・40% → 1項目・11% → 1項目

数値目標達成状況

$= (100\% \times 3 + 52\% \times 1 + 40\% \times 1 + 11\% \times 1) \div 6 \text{項目}$

$= 67.1\% \rightarrow \text{要改善}$

4. 評価部会での評価の決定

評価シートに記載された内容を基礎に、会議当日の質疑応答も踏まえて委員が協議し評価する。

5. 評価部会の進め方

- 中項目ごとに事務局から令和2年度の取組状況を説明
- 中項目単位で評価